



川で元気に遊ぶ子どもたち

**夏本番 自由に遊びを発想**

青木村の夏といえば、川遊び、山でのキャンプなど自然と触れ合えるのが魅力です。青木村は山に囲まれ、自然できれいな水が上田へと流れています。

子どもたちは川で自由に遊びを発想します。大人が思っている以上に楽しみ方を知っていると思うんです。

川遊びをした後は、外で火をたきながらバーベキューも最高！時間を気にせず火を囲み、空には星が出て、おいしいコーヒーマンなんてのもいいですね。カエルの鳴き声もまた味があります。村にはそんなステキな場所があるんです。

青木村は上田市街地に比べて暑さが違います。きつと山の木や、きれいな水が流れているからでしょう。

今年の夏は外に出て、のんびり空を見上げて、青木村のイトコロを考えてみるのはいかがでしょうか。(堀内)



ヤーコンプロデューサー 株式会社よしもと

みやいりたかみち 宮入隆通さん (41)



# 青木人 Vol.1

～活力ある青木村民をたずね歩く～

ヤーコン農家として活躍する宮入さん。高校生の頃は村が嫌いだったそうだ。長いこと県外で暮らしていたが、趣味のアウトドアをきっかけに村に戻り、父親が育てていたヤーコンをつくることに。

「よしとも」では海外の人が、共同生活をしながら一緒に作業を手伝う、ウーフ制度を取り入れている。第三者に魅力を教わり、村に対する見方が変わってきた。

ヤーコンの原産地は南米アンデス地方。日本では健康野菜に区分されているが、地中で育つ根は甘くて水分含有率が高い。生で食べると梨のようにみずみずしくシャキシャキした食感が楽しめる。安心して食べられるものという思いから、農薬・除草剤・化学肥料は一切使用しないこだわり。葉っぱや茎をお茶に、根をドライフルーツやシロップに加工して販売している。将来的にはカフェ、レストラン、お菓子工場も作りたいと意欲を覗かせた。(山浦)



Yoshitomo

株式会社よしもと 〒386-1602 小県郡青木村村松 1002  
TEL・FAX: 0268-71-0226 <http://e-yoshitomo.com/>

道の駅あおき・インターネットで販売中



低温濃縮・添加物無しのヤーコン 100%の甘味料。調味料としてもおすすめ。

## 青木時報を学ぶ

青木時報とは、大正デモクラシーが真っ盛りだった大正10年5月に誕生した地域新聞で、初代編集長は自由律俳人の栗林一石路でした。

農事、家庭のこと、事故や慶弔ニュース、村の歴史、伝説の紹介、青年の人生相談など、内容は多岐に渡っていました。大正10年から昭和36年まで41年間に392号を刊行。青木村の連携と文化形成に大きな役割を果たしてきたと言われています。

時事の報道批判を掲載すると宣言した上で、政府の政策に対して過激な論文を載せました。「義民・反骨・自立の村」と言われる青木村の原点で、その精神は歴史的文化財とも言われています。創刊の辞には「村の自治について、村を愛し理解せねばならない、理解するためには知ることである」と書かれています。

平成青木時報でも知ることに重きを置いて情報発信をしたいと考えています。温故知新という言葉があるように、古きを知るため、今後も過去の記事を紹介していきます。



青木時報創刊号 大正15年5月5日

復刻版 青木時報

全3巻 28,500円 (税込み)



仕様 発行元

B4判・特殊保存版 (120%拡大)  
青木時報復刻版刊行委員会  
上田市中央 3-8-7 (平林堂書店内)  
TEL 0268-27-1810

「義民・反骨・自立の村」の原点をさぐる！  
大正から戦後まで全392号を完全復刻！！